

カンガルーシップ活動

就労支援プロジェクト 実施報告書

報告日 平成30年2月21日

主管学校名 埼玉大学教育学部附属特別支援学校

PTA会長名 仲田 政司

実施概要	主管校	埼玉大学教育学部附属特別支援学校
	交流校	
	実施活動名	しいの木NET部 ブロック別活動 就労先開拓および施設見学
	実施日時	9月6日、13日、14日、21日、26日、27日、10月3日 1月16日、17日、18日、2月16日
	実施場所	<ul style="list-style-type: none"> ・川越いものこ作業所（就労移行・就労継続支援B型・生活介護） ・杉の子学園（障害者支援施設） ・あかしあの森（多機能型事業所） ・花の食品館（就労継続支援事業所） ・大空（就労継続支援B型） ・社会福祉法人ななくさ（多機能型大谷事業所） ・チームぴかぴか（埼玉県庁第二庁舎内） ・浦和ゆめの園（就労移行・就労継続支援B型） ・未来工房（就労継続支援A型）
	実施目的	<p>本校児童生徒は、現在、埼玉県内12市に在住しており、JR大宮駅に乗り入れる7つの各路線、バス、近隣は徒歩での通学をしている。PTAでは、卒業後の就労、余暇や家庭での生活も含めた進路について、同じ地域、同じ路線使用の保護者が交流し情報交換をすることを目的に、「しいの木NET」という部署を作り、自宅最寄り駅などでの路線別にブロック班編制をする活動を組織している。</p> <p>本事業は、小学部、中学部、高等部の同じ地域に在住する保護者が、ともに通勤通所が可能な範囲としての路線沿線や地域に近い企業や事業所の見学を行う。上級生の保護者とともに見学を行う事は、施設の様相・見学のポイントを知るだけでなく、上級生の生徒の様子と自分の子どもの様子とを重ね合わせながら、将来の見通し、子どもの療育に活かす視点なども持つことが出来るようにする企画である。</p>
	実施内容	施設等見学
	実施方法	<p>◇各ブロック班にて見学場所・内容を選定。日程調整を行い、案内配布。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見学場所の選定に際しては、進路担当教員が情報提供する。これまで本校卒業生が利用、就労していない施設がほとんどであり、見学と同時に就労先開拓も担っている。 <p>◇参加希望者を調整後、各ブロック班・進路担当教員とともに見学。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他ブロックの班見学にも参加希望者は見学可能。 ・将来の「通勤」についても考える良い機会であるため、公共交通機関を使用した移動とする。 <p>ただし、小学部等児童の登校送迎の為の時間的配慮が必要な場合も有り、タクシー等の使用も有る。</p> <p>ブロック活動報告書作成。</p>
参加人数	全保護者会員60名 担当教員2名（各日の参加人数は、下記結果にて）	

報告事項	内容	<p>○事業所数 9事業所 全12日 各事業所で見学・説明会を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川越いものこ作業所（就労移行・就労継続支援B型・生活介護） ・杉の子学園（障害者支援施設） ・あかしあの森（多機能型事業所） ・花の食品館（就労継続支援事業所） ・大空（就労継続支援B型） ・社会福祉法人ななくさ（多機能型大谷事業所） ・チームぴかぴか（埼玉県庁第二庁舎内） ・浦和ゆめの園（就労移行・就労継続支援B型） ・未来工房（就労継続支援A型）
------	----	---

	結果	<p>◇川越いものこ作業所（就労移行・就労継続支援B型・生活介護） ①9月6日（水） 参加保護者 13名（小7名、中4名、高2名）</p> <p>◇杉の子学園（障害者支援施設） ◇あかしあの森（多機能型事業所） ◇花の食品館（就労継続支援事業所） ①9月13日（水） 参加保護者 13名（小4名、中5名、高4名）</p> <p>◇大空（就労継続支援B型） ①9月26日（火） 参加保護者 6名（小2名、中2名、高2名） ②1月16日（火） 参加保護者 4名（中2名、高2名）</p> <p>◇社会福祉法人ななくさ（多機能型大谷事業所） ①9月14日（木） 参加保護者 7名（小1名、中3名、高3名） ②2月16日（金） 参加保護者 9名（小4名、中5名）</p> <p>◇チームぴかぴか（埼玉県庁第二庁舎内） ①9月21日（木） 参加保護者 12名（小2名、中5名、高5名） ②1月17日（水） 参加保護者 15名（中8名、高7名）</p> <p>◇浦和ゆめの園（就労移行・就労継続支援B型） ①9月27日（水） 参加保護者 19名（小6名、中7名、高6名）</p> <p>◇未来工房（就労継続支援A型） ①10月3日（火） 参加保護者 8名（小1名、中4名、高3名） *自ブロック班以外の見学への参加者が多数。</p>
	所感	<p>小学部低学年及び中学部1年生、高等部1年生の外部入学者にとって、通勤可能な範囲の事業所を知るといだけでなく、事業形態、職種、事業所の理念なども知ることができたという感想が多くあがった。自ブロック班以外の事業所見学に参加することができたことも大きい。また、施設の方と懇談できる場も設けられ、就労するまでに身につけておくべきことや、習得すべきスキル等、子育てについてのアドバイスなども頂き勉強になった、今後の見通しが持てた、という感想も多かった。</p> <p>小・中・高がある特別支援学校だからこそ、進路・就労に関する見識を小学部の時点から深めていくことができると感じる事ができた事業である。</p>

添付書類	
------	--

カンガルーシップ活動

就労支援プロジェクト

参加感想

提出日 平成30年2月21日

学校名 埼玉大学教育学部附属特別支援学校

○本活動に対してのご意見

- ・他の学部、学年の方と情報交換が出来る非常に有意義な活動だと思う。
- ・就労先を知るだけでなく、今後の学校生活や家庭で大切にしたい事、習得すべきスキル等知ることができ参考になった。
- ・他ブロックの施設見学にも参加でき、色々と見てみたいという自分には大変ありがたい。
- ・自分の子どもが通勤可能な場所を見学できるところが、現実的な事業で良かった。
- ・進路先を知るだけでなく、学校や家庭での生活で大切にしたいことなどを知ることができ、参考になった。

○見学の感想（抜粋）

(1) 川越いものこ作業所（就労移行・就労継続支援B型・生活介護）

- ・利用者の方には無理をさせずありのままを受け入れ、安心して働ける職場であることを実感しました。
- ・徹底したアセスメントによって、出来ないことや苦手なことを無理矢理習得させるのではなく、得意なこと出来そうなことを伸ばすという指導と、特性に合った就職先を探すマッチメーカーとしての役割を両方果たしたとても良い事業所だと感じました。

(2) 杉の子学園（障害者支援施設）あかしの森（多機能型事業所）花の食品館（就労継続支援事業所）

- ・福利厚生も恵まれていると感じました。子どもがこんな会社で頑張れるくらい成長してくれたら良いなと思いました。
- ・プログラムのテキストがあり、細かい指導が成されていました。
- ・就労に必要なスキルを身につける環境が整っていると感じました。
- ・先回りして安全にやらせるより、やらせてみるという冒険を重ねることも子どもにとって大事なのだと考えさせられました。
- ・午後の余暇活動では、書道や絵画の先生を呼んで行う等充実していました。

(3) ・大空（就労継続支援B型）

- ・受け入れ側としての話、就労前に家庭でもらいたい事、支援員さんとの連携など興味深い話でした。親としてやらなければならないこと教えて頂き、子どもが成長できる力を少しでも伸ばしていかなければを思いました。
- ・作業員に対し指導員の数が多く目が行き届いており安心感を持てる。

(4) 社会福祉法人ななくさ（多機能型大谷事業所）

- ・担当者お話しはご自身の親目線、会社での指導者目線で忌憚のないものであり、とても真心のある内容で大変勉強になりました。
- ・働いている皆さんに明るい笑顔が多く見受けられ、安心して働ける職場なんだと思いました。
- ・グループホームが有るのも魅力的。（利用者のみ入所可能）

(5) チームぴかぴか（埼玉県庁第二庁舎内）

- ・「働く力を身につけること」に熱心に取り組んでいて、就労された方を参考に、実際に必要なスキルを習得できるようカリキュラムに取り入れているところがオリジナルで良いと思いました。
- ・「1年間しかここにはいられない。次の就業先へのステップアップの場」というコンセプトの事業所なので、利用者の方の作業に取り組む姿は、今まで見学したどの事業所よりも真剣だなと感じられた。
- ・お給料がもらえるお仕事の厳しさを知ることができました。

(6) 浦和ゆめの園（就労移行・就労継続支援B型）

- ・8:30~16:00の短時間に行う作業としてはかなりハードであると感じた。
- ・卒業生がいきいきと仕事をされておりうれしく思いました。
- ・今回の見学は高齢者デイサービスの昼食作りでしたが、施設内の雰囲気がとてもよく働く方々の笑顔が印象的でした。

(7) 未来工房（就労継続支援A型）

- ・仕事をやる力を発見する、心と得意を磨くという「伸ばそうという姿勢」が素晴らしいと思いました。
- ・災害時の帰宅についての練習などの取り組みもされていて感心しました。
- ・いろいろな行事も有り、楽しく仕事を続けられそう。